

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	030401170	予算コード	01021100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	訪問看護利用料助成事業			正規職員数 0.05	国庫支出金 0	有効性	B	平成29年1月に制度が拡充され、65才以上の重度障害者等も対象となり、利用者負担も1割から福祉医療と同額まで減額されたため、人数・助成額とも増加している。	
担当課	地域共生推進課			嘱託職員数 0	府支出金 722				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	C		
	■要綱・要領			歳出(千円)	その他 0				
	泉佐野市重度障害者訪問看護利用料助成事業実施要綱			人件費総額 441	一般財源 1,165	妥当性	B		
					減価償却費 0				
					事業費 1,446	受益者負担	B		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	1,887	緊急性	A		事務事業実施内容
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	19				訪問看護利用料助成件数661件
対象				活動指標	H30実績	公的関与	A		
特定の市民	対象数	48		申請件数	836.0				
身体障害者手帳1・2級、療育手帳A所持者、身体障害者手帳3~6級と療育手帳B1所持者				申請人数	48.0	実施主体・委託化	A		
事業の内容						他の事務事業との関連	A		
重度の障害者(児)が訪問看護ステーションを利用した場合、一部自己負担額の一部を公費で負担する。 (ただし平成29年度末で事業廃止しているため、平成30年度からは過去受診分のみを対象)				成果指標	H30実績	透明性	C		
				利用件数	836.0	財政健全化計画	該当なし		
				利用人数	48.0	財政健全化の取組	該当なし		
						改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				コスト指標	H30実績				
重度の障害者(児)で在宅において療養が必要な者に対し、訪問看護の利用を促進することにより、生活の質に配慮した在宅医療の推進を図る。				助成1件当たりの経費	2,257.0				
				助成1人当たりの経費	39,312.0				